

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
総合芸術	選択	3	3	普通科

科目の概要	年間の諸活動を通して芸術文化への理解を深めます。			
教材名	教科書			
	副教材			
担当者	水本夕佳／竹本正治			
学習到達目標	生活や社会の中の芸術や芸術文化と幅広く関わる資質・能力を身につける。			
学習方法	教材を用いて各自のレベルに合わせた方法で授業を展開します。			
評価基準と 評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価 方法	・ 作品 ・ ワークシート	・ 作品 ・ ワークシート	・ 取り組みの姿勢 ・ ワークシート
	A	・ 造形の構造や文化的背景などについて深く理解できる。 ・ 表現するために必要な技能を十分身に付けている。	・ 表現を創意工夫することや、重ねることや、よさや美しさを深く感じ取ることができる。	・ 主体的に美術の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり愛好する心情、文化に親しむこと、生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を十分に持つことができる。
	B	・ 造形の構造や文化的背景などについて理解できる。 ・ 表現をするために必要な技能を身に付けている。	・ 表現を創意工夫することや、よさや美しさを感じ取ることができる。	・ 主体的に美術の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり愛好する心情、文化に親しむこと、生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を持つことができる。
	C	・ 上記が不十分な場合。	・ 上記が不十分な場合。	・ 上記が不十分な場合。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4	オリエンテーション	・ 1年間の学習内容の概要、1回ごとの授業の進め方を知る	2	
	基礎技術と表現	・ 1年次 必修 美術 I 既習事項の確認	4	
5	基礎技術と表現②	・ 必要な技術の習得	1 2	
6	基礎技術と表現③		9	
7	基礎技術と表現④		9	
8	実践的表現①		9	
9	実践的表現②		9	
10	実践的表現③		1 2	
11	実践的表現①		1 2	
12	実践的表現②		9	
	鑑賞	1年間の学習の振り返りと鑑賞活動	3	
1	家庭学習期間			
2				
3				